

令和3年度(2021年度)

管理事業名	勤労者会館事業				総合計画の 体系	大綱 7 政策 1 施策 2	都市魅力 地域経済の活性化を図るまちづくり 就労と働きやすい環境づくりへの支援			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	5	労働費	(項)	1	労働諸費	(目)	2	勤労者会館費
部局名	都市魅力部	予算執行所属		地域経済振興室						
予算大事業名 勤労者会館事業			上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名							
事業の目的と概要										
【目的】 勤労者の福祉の増進と雇用の安定のために設置された施設である勤労者会館において、指定管理者による運営の元、施設の設置目的を効果的に達成するため、勤労者の文化教養の向上、健康の増進、余暇利用の充実にかかる必要な情報の提供及び知識・技能の習得を図るための各種講座を実施しています。										
【概要】 ・指定管理による運営管理 ・大規模改修工事										

I 事業の成果(実績)

指 標 名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成 果 指 標 の 定 義
勤労者による貸室利用割合		%	46.4	45.6	56.2	利用件数全体のうち、勤労者の貸室利用の割合
プール利用者数		人	48,627	0	12,788	プールの利用者数
市が主催または共催で実施する雇用・労働に関するイベントの数		件	6	0	5	勤労者会館で、市が主催または共催で実施する就職面接会や労働関係セミナーなどのイベント数
市が主催または共催で実施する雇用・労働に関するイベントの参加者数		人	209	0	93	勤労者会館で、市が主催または共催で実施する就職面接会や労働関係セミナーなどのイベントに参加した人数
成果の説明	プールは例年、健康増進施設としての利用が高い状況ですが、令和3年度については、大規模改修工事を実施したことにより、令和2年10月から令和3年8月まで休館していたことから例年に比べ利用者数は減少しています。また同様に、勤労者会館で実施する雇用・労働に関するイベントについても新型コロナウイルス感染症拡大の影響で参加人数に制限を設けるなどをしたため参加者数が令和元年度よりも減少しております。					

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目		令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
経常収入	地方税	-	-	-	-
	分担金及び負担金	-	-	-	-
	使用料及び手数料	20,276	726	8,335	7,609
	国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	財産収入	-	-	-	-
	寄附金	-	-	-	-
	他会計からの繰入金	-	-	-	-
	受取利息及び配当金	-	-	-	-
	その他	642	21	42	22
経常収入 小計 (a)		20,918	746	8,377	7,631
経常費用	給与関係費	5,743	6,432	6,399	△33
	物件費	91,936	71,047	135,829	64,782
	維持補修費	1,162	611	86	△525
	社会保障扶助費	-	-	-	-
	負担金・補助金・交付金等	2	966	17	△949
	特別会計への繰出金	-	-	-	-
	減価償却費	17,476	17,476	36,467	18,991
	徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
	賞与引当金繰入額	527	592	522	△70
	退職手当引当金繰入額	128	883	320	△563
	支払利息	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	経常費用 小計 (b)	116,973	98,006	179,641	81,634
経常収支差額 (a)-(b)=(c)		△96,055	△97,260	△171,264	△74,004
特別収入	固定資産売却益	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	特別収入 小計 (d)	-	-	-	-
特別費用	固定資産除売却損	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	特別支出 小計 (e)	-	-	-	-
特別収支差額 (d)-(e)=(f)		-	-	-	-
一般財源調整額 (g)		-	-	-	-
当期収支差額 (c)+(f)+(g)		△96,055	△97,260	△171,264	△74,004
一般財源充当額		78,911	89,027	380,331	291,304
一般会計からの繰入金		-	-	-	-
一般会計への繰出金		-	-	-	-
再計		△17,144	△8,233	209,067	217,300

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決 算 額 の 主 な 内 容
使用料及び 手数料	令和2年度は新型コロナウイルス感染症や大規模改修工事により閉館し、令和3年9月にリニューアルオープンしたことによる使用料が増額したもの(＋7,609千円)
物件費	大規模改修工事による増額(＋64,782千円)
減価償却費	大規模改修工事により増額(＋18,991千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	20,918	746	8,377	7,631
行政サービス活動支出	99,829	80,108	143,364	63,255
行政サービス活動収支差額	△78,911	△79,362	△134,987	△55,624
投資活動収入	-	-	150,000	150,000
投資活動支出	-	9,665	574,444	564,779
投資活動収支差額	-	△9,665	△424,444	△414,779
財務活動収入	-	-	179,100	179,100
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	179,100	179,100
収支差額 合計	△78,911	△89,027	△380,331	△291,304
一般財源充当額	78,911	89,027	380,331	291,304
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主要内容	投資活動収入 公共施設等整備基金繰入金 ＋150,000千円 財務活動収入 勤労者会館改修事業債 ＋179,100千円
--------------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指 標 名	年度	実績	単位あたりコスト	分 析 内 容 (前 年 度 と の 増 減 理 由)
施設利用者1人あたりのコスト	令和元年度	139,111 人	841 円	勤労者会館利用者1人あたり 4,573円のコストがかかっています。令和3年度は4月から8月まで休館していたことや、大規模改修工事が完了し、昨年度より経常費用が増額となったため、単位あたりコストは改修工事前の令和元年度と比較しても増加しています。
	令和2年度	11,793 人	8,310 円	
	令和3年度	39,281 人	4,573 円	
開館1日あたりのコスト	令和元年度	284 日	411,878 円	勤労者会館1日あたり902,717円のコストがかかっています。令和3年度は4月から8月まで休館していたことや、大規模改修工事が完了し、昨年度より経常費用が増額となったため、1日あたりのコストは改修工事前の令和元年度と比較しても増加しています。
	令和2年度	104 日	942,369 円	
	令和3年度	199 日	902,717 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	592	522	△70	
	未収金	-	-	-	地方債	-	-	-	
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-	
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	592	522	△70	
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-	
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-	
固定資産	事業用資産	有形固定資産	339,264	877,242	537,977	その他流動負債	-	-	-
		土地	53,936	53,936	-	固定負債	5,339	184,319	178,980
		建物・工作物	275,663	823,306	547,643	地方債	-	179,100	179,100
		リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
		建設仮勘定	9,665	-	△9,665	退職手当引当金	5,339	5,219	△120
	インフラ資産	無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
		有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
		土地	-	-	-	負債の部合計	5,931	184,841	178,910
		建物・工作物	-	-	-	純資産	333,334	692,401	359,067
		建設仮勘定	-	-	-				
	重要物品	重要物品	-	-	-				
		図書館資料	-	-	-				
		投資その他の資産	-	-	-				
		出資金	-	-	-				
		長期貸付金	-	-	-				
		基金	-	-	-				
		徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	333,334	692,401	359,067
		その他債権	-	-	-				
		資産の部合計	339,264	877,242	537,977	負債及び純資産の部合計	339,264	877,242	537,977

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

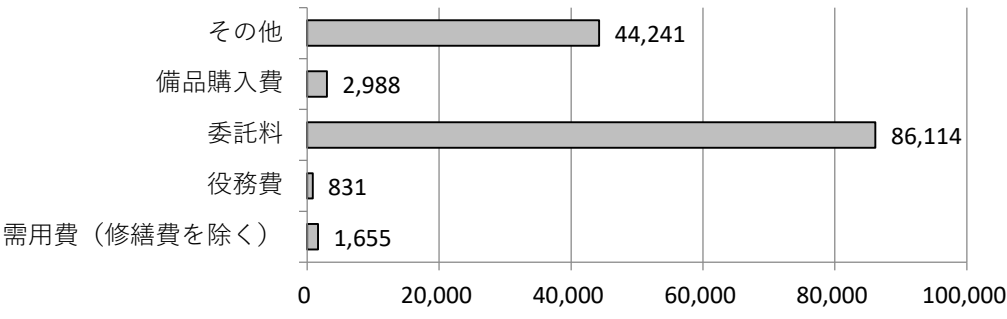
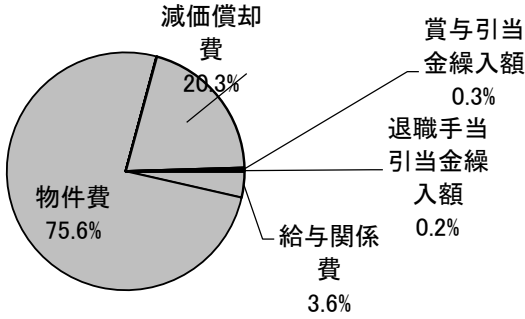
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	0.9 人	日	日	
給与関係費等	7,241 千円	千円	千円	合計(千円) 7,241
内、時間外勤務手当	0 千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増 減 理 由
建物・工作物	勤労者会館における大規模改修工事による固定資産の増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立勤労者会館
取得年月日	昭和60年6月1日
建物・工作物の取得価額	1,457,899 千円
建物・工作物の減価償却累計額	634,594 千円
利用料金収入	8,335 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.1	0.1	0.0	△ 0.1
施設老朽化比率		66.5	68.5	43.5	△ 25.0
受益者負担比率		17.3	0.7	4.6	3.9
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		79.0	99.2	53.0	△ 46.2
経常費用対公共資産比率		13.4	11.2	12.3	1.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

・コスト全体の7割以上を物件費が占め、指定管理委託料や、大規模改修工事を実施したことによる費用が占めています。
・減価償却費がコスト全体の約20%を占めています。
・老朽化率が43.5%で、大規模改修工事により令和2年度から25.0%改善しました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

勤労者会館は、勤労者の福祉の増進と雇用の安定に資するために設置された施設ですが、その対象者である勤労者の利用割合が半数以下となっている現状があったことから、勤労者会館条例施行規則で、勤労者は勤労者以外の者よりも3か月早く貸室の使用の申請ができるように改正しました。(令和3年3月1日施行)結果的には10.6%改善しましたが、さらに推進する必要があることから、指定管理者も含め、勤労者にとって魅力的な施設となるよう、事業の検討を進めてまいります。
開館から35年以上経過し老朽化が進んでいたことから、令和2年度から令和3年度にかけて大規模改修工事を実施し、老朽化比率が改善しました。